

第一部 全体構想

グランドデザイン（全体構想）の対象範囲（P1～P10）

■全体構想

原則として、高島平一丁目から九丁目（約314ha）

■公共用地の再整備地区

原則として、旧高七小跡地及びその周辺の既存公共施設が集積する区有地（約2ha）



将来像を実現する4つの基本方針（P17～P46）

■都市を飛躍させる要素

にぎわい（ジャンプアップ要素）

地域の内外から人が訪れ交流するにぎわいを創出し、歩きや自転車利用で楽しく暮らすことのできる利便性の高いまちへと発展させていきます。

- 交流の促進や生活利便機能が充実した拠点の形成
 - ・交流核の形成（高島平駅周辺）
 - ・生活核の形成（西台・新高島平・西高島平駅の周辺）
 - ・大規模施設用地の有効活用によるにぎわい導入
- 核や地域をつなぎ、にぎわいとうるおいを与える軸の形成
 - ・プロムナードの整備（歩きと自転車が調和した活動的なまちづくり）
 - ・高島平団地の空間、緑道等を活用した歩行者や自転車利用者のためのネットワークづくり
- 交通ネットワークの強化
 - ・自転車走行空間の整備促進
 - ・地域内シェアサイクルなどの検討
 - ・地域外からの地域へのアクセス向上（エイトライナーなど）

ウェルフェア^{※1}（ステップアップ要素）

多様な子育て支援サービスの提供や心と体の健康づくりに取り組みながら、子どもから子育て世帯、高齢者までが交流し、誰もが元気に明るく暮らすことのできるまちをめざします。

- 民間部門も活用した多様な子育て支援サービスの提供
- 心と体の健康づくり
 - ・健康ウォーキング・サイクリングのための環境整備
 - ・農園・園芸・コミュニティガーデンの整備
 - ・地域包括ケアシステムの早期構築
 - ・「サービス付高齢者住宅」など、住み替え支援について関係者との連携
 - ・公有地等を活用した障がい者施設の充実
- 地域活動の担い手支援
 - ・地域内外の大学との連携
 - ・青少年期からの人材育成（啓発、ボランティア活動など）
 - ・高齢者の生きがい就労支援
 - ・障がい者の就労の場づくり
 - ・女性や若者、高齢者などの起業支援

※1 ウェルフェア（健康福祉）：
高島平地域グランドデザインでは、ウェルネスや高齢者の生きがい・健康づくり、女性の活躍、子育て等を包含する意味で使用

まちの将来像（P11～P16）

願いに応え、みんなでつくる『高島平スタイル』
～多くの人を惹きつけ、時を過ごし、住みたい、働きたい、暮らし続けるまち～

地域全体に点在する公共・公益施設や豊かな緑などを活用しながら、若者世代や子育て世帯が魅力を感じる多様な機能や仕掛けを地域全体に展開して、「多くの人を惹きつけ、時を過ごし、住みたい、働きたいまち」、「暮らし続けるまち」への転換を図っていきます。

■都市の底力を上げる要素

スマートエネルギー

環境負荷の低減や循環型エネルギーの導入などに取り組みながら、新たな時代に対応した*、環境に優しく持続可能なまちの基盤をつくりまします。

*水素社会を見据えた水素などの新技術の導入

- ※1 HEMS：
住宅用エネルギー管理システム
- ※2 BEMS：
ビル・エネルギー管理システム
- ※3 MEMS：
マンション共用部のエネルギー管理システム

防災

道路公園などのオープンスペースや燃えにくい建物が集積する地域の強みを活かし、更なる安全性を高めながら、災害時でも継続的に生活の安定や都市機能が維持されたまちに転換します。

- ※4 緊急輸送道路：
震災時に避難や救急・消火活動、緊急物資輸送の大動脈となる幹線道路
- ※5 医療救護拠点：
大規模地震等の発生から3日間程度、負傷者等が身近な場所で迅速に応急医療が受けられる救護所

●総合的なスマートエネルギーの推進

■個別の住宅・建物レベル

- ・改築・新築に合わせた建物の省エネ化など
- ・HEMS^{※1}/BEMS^{※2}/MEMS^{※3}などの導入

■街区レベル

- ・地域エネルギーネットワーク拠点の整備
- ・コージェネレーション（熱源より電力と熱を発生させ供給するシステム）、太陽光、蓄電・蓄熱システム等
- ・建物間でのエネルギーの面的融通

■地域レベル

- ・熱導管・電力線・情報ケーブルによる地域内のエネルギー拠点のネットワーク化
- ・未利用エネルギーの活用

●安心・安全な避難・滞在拠点の形成等

- ・3つの拠点の検討
（高島平二・三丁目地区、西高島平駅周辺、西台駅周辺）

●河川氾濫時の浸水対策や脆弱地盤対策

●中核的機能を担う拠点整備の検討

- ・区立小学校を中心とする避難所機能の充実

●広域的な救援拠点の形成

- ・2つの広域救援拠点の形成
（板橋清掃工場、流通業務団地及びその周辺）
- ・緊急輸送道路^{※4}の沿道建築物の耐震化
（高島通り、都道446号）
- ・新たな医療救護拠点^{※5}の形成
（板橋区医師会病院、高島平中央総合病院）

各整備方針 (P47~P52)

地域内外からの交流を促進する交流核の形成【高島平駅周辺】

駅南側に集積する公共用地や公共施設等の再整備を起爆剤として、にぎわいや交流機能、生活利便性を高め、高島平地域の物語発信の中心とします。

主な整備方針

- ・区立施設の更新に合わせた機能の充実や集約、複合化
- ・公共用地の有効活用
- ・高島平デザインセンター（協議、検討、実行組織）の設置
- ・駅舎の改修に合わせた駐輪場、デッキなどの整備

生活に便利・生活をサポートする機能を取り入れた生活核の形成

【鉄道駅の周辺】

駅を中心に、高齢者が気軽に集える空間や子育て世帯のサポート機能などの集積・配置を図ることで、生活の利便性を高めます。

主な整備方針

- ・駅及び駅周辺の商業店舗の充実
- ・駅及び市街地のバリアフリー化の推進
- ・高齢者や子育て世帯のサポート機能の充実

地域内の駅や拠点、まちを連携させるプロムナードの整備

三田線の高架下や高島平緑地を活かして、地域住民同士の交流や来街者が楽しく過ごすことのできる、にぎわいとうるおいを感じられる歩行者や自転車走行空間づくりを推進します。

主な整備方針

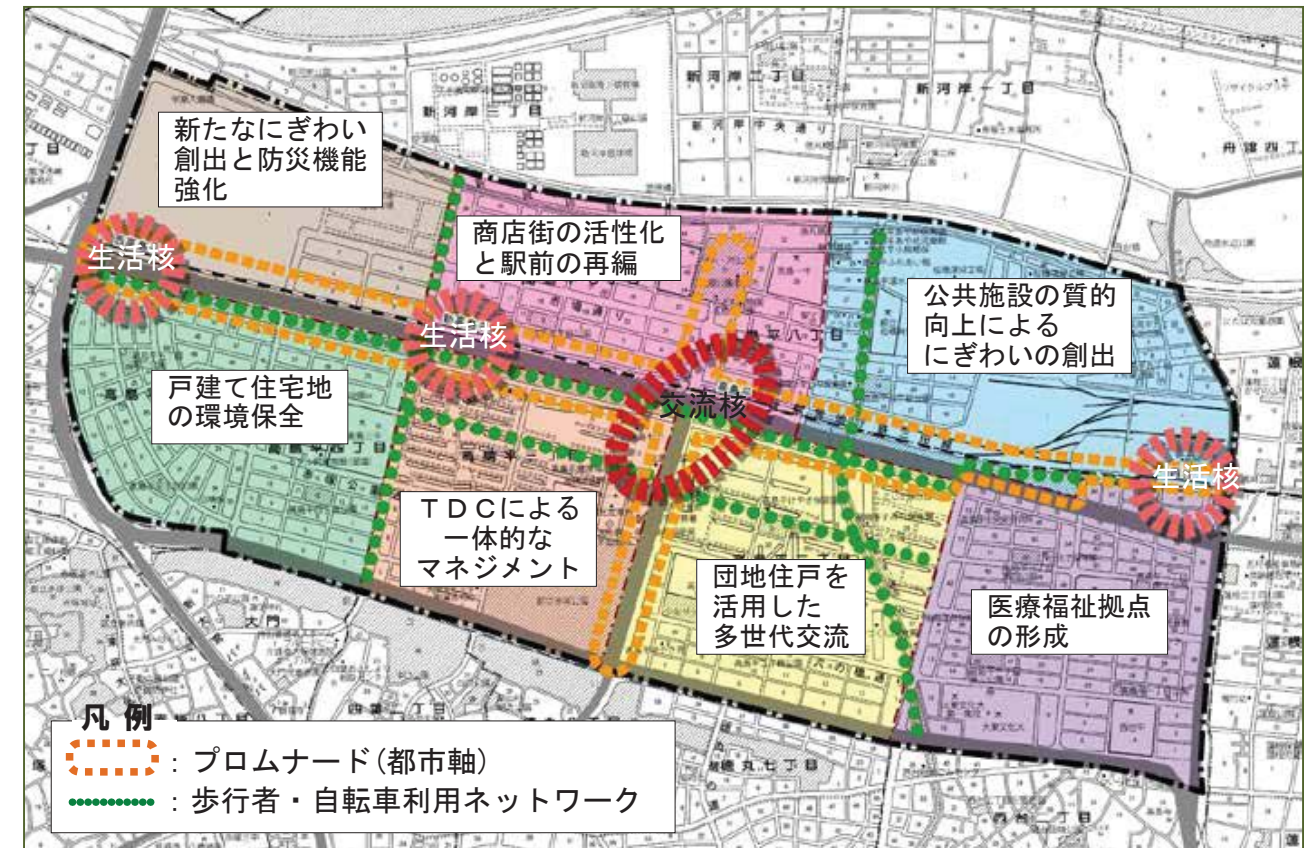
- ・三田線の高架下の一層の有効活用
- ・プロムナード沿道の店舗の誘致
- ・緑と触れ合える機会の創出
- ・歩いて楽しい高島平緑地の再整備
- ・自転車走行空間の整備
- ・災害時に必要なトイレや備蓄倉庫などの整備

地域を結ぶ歩行者や自転車利用ネットワークの形成

荒川の河川敷や徳丸ヶ原公園、赤塚公園等の緑の空間を結ぶ道路や、高島平団地内の通路などを活用した歩行者や自転車利用者のためのネットワークを構築し、歩きや自転車利用に適した環境整備を推進します。

主な整備方針

- ・ウォーキングやサイクリングロードの整備
- ・サインや案内板などの設置
- ・体力測定会などの健康イベントの実施
- ・適切な駐輪場の配備



高島平緑地の再整備



駐輪場の整備



三田線高架下の再整備



カフェ等の設置



自転車路の整備



団地内ウォーキングロード

